

## 地域医療総合支援センターよりお知らせ

日頃より、当院の地域医療連携にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

2020年7月1日より地域医療連携室は「地域医療総合支援センター」として稼働をはじめました。地域の先生方には、当院を便利にご利用いただけるように、患者さまのご紹介や検査・治療後の相互連携という点でさらに試行錯誤を重ねながら、よりよい地域医療を共に作っていきたいと思っております。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 患者さまのご紹介について

紹介状(診療情報提供書)に、診療・検査ご希望日時・保険情報を記入の上、下記までFAXしてください。

医師の指定がある場合は、紹介状に記入ください。入院依頼の場合は、お部屋タイプも記入ください。

1

診療情報提供書はホームページよりダウンロードいただけます。

当院のホームページのトップページより、

①【医療関係者の方へ】をクリック

②【紹介・診療・検査予約】をクリック

③ご利用手順の中にある右記のボタンをクリックし、PDFを印刷ください。

[診療情報提供書](#)

[糖尿病患者様専用診療情報提供書](#)

[糖尿病教育入院診療情報提供書](#)

[心不全高血圧教育入院診療情報提供書](#)

2

FAXにてお返事いたします。

入院依頼および病状等により多少お時間をいただく場合がございます。

3

患者さまへご来院日時に、紹介状(診療情報提供書)と保険証をご持参下さいようお伝えください。

## 地域医療総合支援センター

**TEL.078-681-6250  
FAX.078-686-1802**

[月～金曜日]9:00～17:30 [土曜日]9:00～17:00 [日・祝日]休み

## 編集後記

8月に入り予想通り熱波が襲来し、例年とは違う猛暑が続いている。そして、またこれも予想通り、最大の新型コロナ感染第7波の襲来は医療形態そのものの変化を強いてきています。

今回のGENERALLINKは泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・小児科のご紹介です。近年の少子高齢化により泌尿器科・眼科を受診する患者は増加する一方、小児科患者は減少傾向にあります。また、小児科診療で最も多い感染症もコロナ禍によりその頻度・発生時期は大きく変化しています。耳鼻咽喉科・眼科では、その診察内容よりコロナ感染予防対策が非常に重要になります。耳鼻科診療ではエアロゾルが発生する場面が多く、事実感染がオーバーシュートした諸外国では耳鼻咽喉科医師の感染が多く報告されています。一般診療ではサージカルマスクと手袋、ファイバースコープ等ではフェイスシールド、ガウンなどのPPEが必要となります。また新型コロナ感染症状は、耳鼻咽喉科を受診する機会が多くなります。一方眼科診療では、武漢からの報告で0.8%に結膜炎が併発したとされています。細隙燈顕微鏡・検眼鏡による眼底検査等は患者との距離が非常に近く、お互いの暴露リスクが高くなります。第7波による感染患者の激増は、とくに救急医療のひっ迫をきたし、また医療従事者での感染拡大はさらにその状況を悪化させています。今は各自の感染対策を徹底するしか方法はないようで、十分に注意し診療に携わっていたいと思います。



副院長  
地域医療総合支援センター センター長  
**西岡 昭彦** Akihiko Nishioka

- 兵庫医科大学卒（昭和57年）  
・日本外科学会専門医  
・日本消化器外科学会認定医  
・日本消化器内視鏡学会専門医  
・日本内視鏡外科学会技術認定医  
・近畿外科学会評議委員  
・兵庫医科大学臨床教育教授  
・兵庫医科大学第二外科講座非常勤講師  
・マンモグラフィー読影認定医

# 地域医療機関向け広報誌 ジェネラリンク **GENERALINK**



総合病院の総合(GENERAL)と、連携(LINK)を組み合わせた造語になります。私たち神戸百年記念病院は、「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるために、相互連携していきたいと強い想いを込めて作成しました。

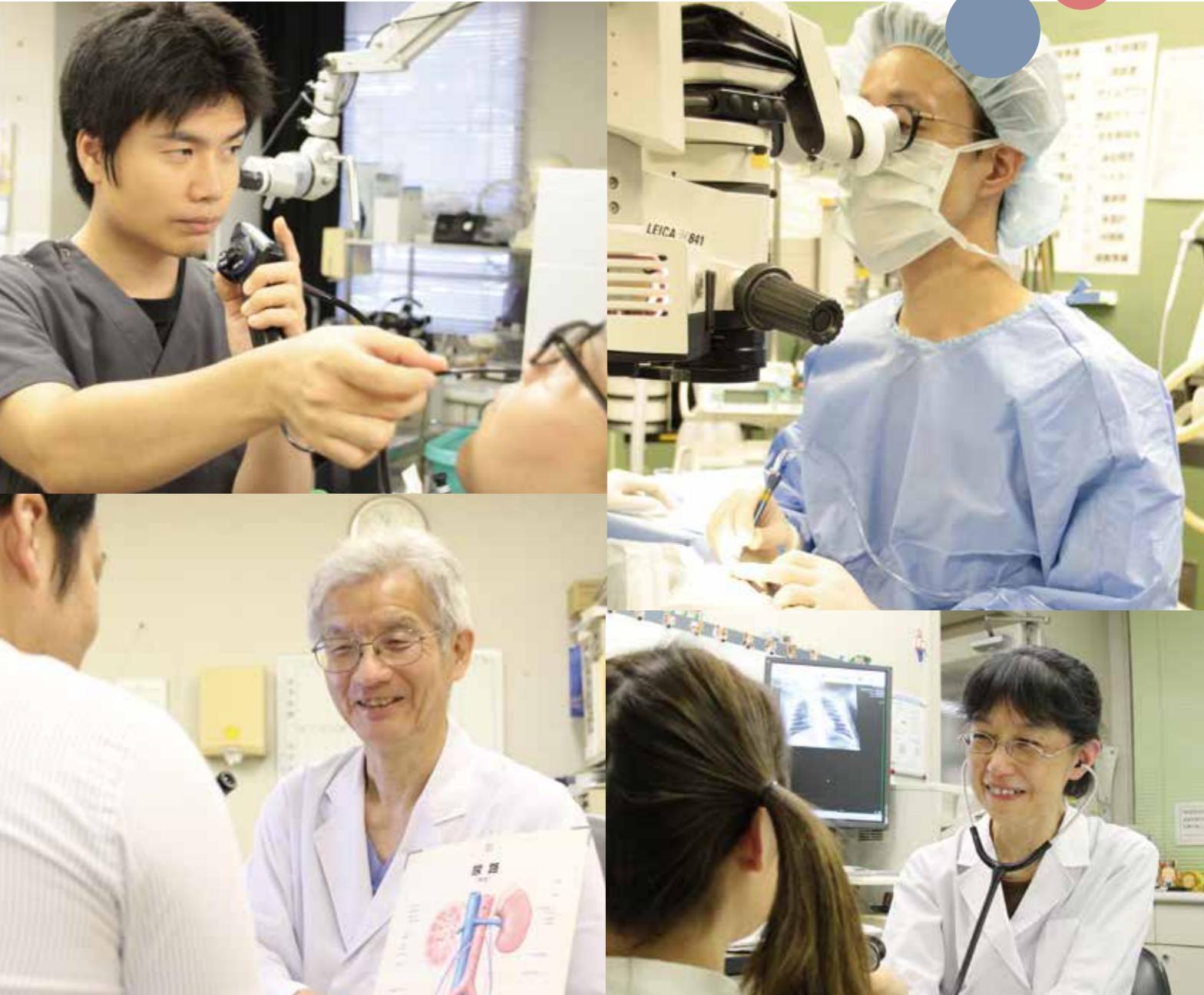
2022.08  
04

## 特 集

### 総合病院として地域に必要な医療を提供する

泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 眼科 | 小児科

症候専門外来・教育入院のご案内



医療法人社団 顕鐘会  
**神戸百年記念病院**

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1  
<https://www.kobe-century-mh.or.jp>  
TEL.078-681-6111(代表)



医療法人社団 顕鐘会  
**神戸百年記念病院**



## 特集

泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 眼科 | 小児科  
症候専門外来・教育入院のご案内

### ごあいさつ ~地域医療連携広報誌「GENERALLINK」~



理事長  
田中 岳史

日頃より当院の診療活動に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。ここに「GENARALINK 第4号」をお届けいたします。今回は、「泌尿器科」、「耳鼻咽喉科」、「眼科」、「小児科」のご紹介、そして「症候専門外来」、「教育入院」の特集号です。

「泌尿器科」は前立腺疾患、排尿障害、そして King of pain の異名をとる結石症を中心に、先生方には数多くの患者さんをご紹介いただいております。「耳鼻咽喉科」は4月より常勤3名体制となり、より capacity が広がり診療の強化を行うことによって、内視鏡下鼻内手術といった低侵襲外科手術のほか、一般耳鼻咽喉科領域から睡眠時無呼吸症候群（SAS）に至るまで幅広い診療を展開しています。「眼科」は白内障手術を中心に眼科全般の疾患、また内科との緊密な連携による網膜症の治療など、きめ細かい、患者さんのニーズに合った診断・治療を展開しています。「小児科」は兵庫区唯一の病院小児科として、小児科一般診療に取り組んでいます。これら診療科の強みは何といっても総合病院としての院内診療科連携、各種検査・機器をフルに生かしての診療です。もう少し詳しく調べたい、治療方針を相談したいなど、お困りのことがありましたらお気軽にお声掛けください。

また、このたび「症候専門外来」、「教育入院」を新設いたしました。診療科横断的な多職種連携による医療体制の構築です。「症候専門外来」は便秘、胸痛、不整脈、足（フットケア）といった診療科別ではなく、症状・症候からの切り口で、より先生方に選んでいただきやすい、患者さんにわかりやすい専門外来となっています。また、患者さんの健康を維持するには、患者さんご自身の健康リテラシーを向上していただくことが何より大切です。専門医、栄養士などによる適切な指導の下、患者さんご自身が必要な知識を身に付け、日頃の生活での実践、継続へと導いてまいります。

先生方、患者さんに常に寄り添い、「なくてはならない病院」と思っていただけるよう、職員一同努力してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 診療科

## 泌尿器科



### 高齢化社会を迎え、泌尿器疾患は増加傾向に

泌尿器科部長 森下 真一

高齢化社会を迎えると、様々な排尿障害をお持ちの方は、男女を問わず、増加傾向にあります。

### 男性【前立腺疾患】前立腺癌、飛躍的に増加！

男性においては、排尿困難、夜間頻尿を症状とする前立腺疾患（前立腺肥大症、前立腺癌）を中心に、早期診断と治療が求められます。その早期診断から内服治療～手術治療に至るまで担当しています。

手術は、体に対する負担を少なくし、また入院期間をなるべく短くした内視鏡治療をほとんど選択しています。特に前立腺癌は、PSA検査の普及とともに早期診断が可能

#### 2021年 診療実績

結石疾患	上部尿路結石 (腎結石、尿管結石)	下部尿路結石 (膀胱、尿道)	前立腺疾患	膀胱
ESWL 体外衝撃波碎石術	TUL 尿管鏡を用いた 経尿道的尿管碎石術	経尿道的碎石術	前立腺肥大症 経尿道的 前立腺切除術	早期前立腺癌の診断 前立腺生検
104 件	35 件	6 件	26 件	60 件
				39 件

### 患者さんに優しい手術を目指しています！

- ESWL 初回のみ1泊入院・2回目以降は原則外来日帰り手術
- 前立腺生検 1泊入院
- その他 原則、1週間前後の日程で内視鏡による低侵襲手術を施行

#### 外来担当医表

月	火	水	木	金	土
午前 8:00～ 11:45	森下 真一		森下 真一	白石 祐介	森下 真一 (第2・4週)
午後 12:00～ 15:30	担当医 <予約制>		担当医 <予約制>		担当医 <予約制>

となり、近年、男性癌として飛躍的に増加しております。早期診断と非侵襲的なホルモン療法を多数の患者さんに施行しております。

### 女性【排尿障害】尿路感染症に注意！

女性においては、高齢化とともに、頻尿、尿失禁が近年、社会的に注目度を増しており、過活動膀胱、腹圧性尿失禁の診療のニーズが高まっており、積極的に治療しております。以上の高齢化に伴った疾患は、必ずと言ってよいほど合併症として尿路感染症を伴うことが多く、場合によっては重症化し、生命予後に関わることも希ではありません。抗菌化学療法とともに緊急の尿路カテーテル管理を要することも必要となります。これらに対しても緊急入院、処置を担当しています。

### 『疼痛の王様』尿路結石

次に尿路結石疾患、特に上部尿路結石は、突然の背部痛を発症し、King of Pain『疼痛の王様』とも称されます。若年者でも多く罹患し救急対応を要することの多い疾患です。緊急でのご紹介をいただき、診断および ESWL（体外衝撃波碎石術）、TUL（経尿道的尿管碎石術）を積極的に行っております。

結石疾患	上部尿路結石 (腎結石、尿管結石)	下部尿路結石 (膀胱、尿道)	前立腺疾患	膀胱
ESWL 体外衝撃波碎石術	TUL 尿管鏡を用いた 経尿道的尿管碎石術	経尿道的碎石術	前立腺肥大症 経尿道的 前立腺切除術	早期前立腺癌の診断 前立腺生検
104 件	35 件	6 件	26 件	60 件
				39 件

### 泌尿器科

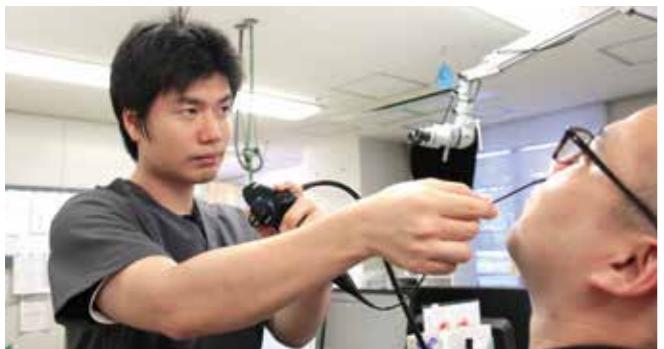


泌尿器科部長  
**森下 真一**  
Shinichi Morishita

[略歴]  
昭和57年 山口大学医学部卒業  
昭和57年 神戸大学医学部付属病院  
昭和57年 泌尿器科研修医  
昭和62年 神戸大学医学部大学院卒  
昭和62年 兵庫県立成人病センター  
泌尿器科医員  
平成2年 姫路赤十字病院 泌尿器科医員  
平成4年 富士原病院 泌尿器科  
平成4年 神戸百年記念病院 泌尿器科

[資格・免許]  
・日本泌尿器学会専門医  
・日本泌尿器学会指導医  
[専門・得意分野]  
・泌尿器一般

## 耳鼻咽喉科



## 常勤 3 人の新体制へ 耳鼻咽喉科 高岡 亮裕

近隣の先生方にはいつも大変お世話になっております。神戸百年記念病院の耳鼻咽喉科 高岡亮裕と申します。

耳鼻咽喉科は本年4月より新たに前田英美先生・奥村智司先生が赴任され、3人の常勤医体制で診療を行っております。1名増員となりましたので、火・金曜日の午後診察を開始しました。今まで午前診療のみでしたので、患者さんにはご不便をお掛けましたが、午後のみしか来院できない方でも、今後ご紹介をいただけましたら幸いです。

## 手術は内視鏡下鼻内手術などを中心に実施

手術に関しては扁桃摘出術、鼻中隔矯正術、内視鏡下鼻内手術、喉頭微細手術、頭頸部良性腫瘍などを中心に行っています。

兵庫医科大学耳鼻咽喉科の医局と連携し、難しい症例は大学の医師に来ていただき手術をおこなっております。特に副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内手術は毎年、多く手術をしており今後も引き続き経験を積んでいきたいと思います。悪性疾患については精査の上、高次医療機関へご紹介させていただいております。手術以外の入院に関してはめまい、突発性難聴や顔面神経麻痺に対するステロイドパルス

## 耳鼻咽喉科



## 高岡 亮裕

Akihiro Takaoka

## [略歴]

平成 23 年 近畿大学医学部医学科 卒業  
平成 23 年 兵庫医科大学病院 (初期研修)  
平成 25 年 兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科  
平成 27 年 神戸百年記念病院 耳鼻咽喉科医員  
[資格・免許]  
・日本耳鼻咽喉科学会専門医



## 奥村 智司

Satoshi Okumura

## [略歴]

令和 1 年 兵庫医科大学医学部医学科卒業  
令和 1 年 兵庫医科大学病院 臨床研修医  
令和 3 年 兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
令和 4 年 神戸百年記念病院 耳鼻咽喉科

療法、急性扁桃炎・急性喉頭蓋炎などの上気道感染症、鼻出血、睡眠時無呼吸症候群に対する PSG 入院などを中心に幅広く入院症例がございます。総合病院として他科の診療科の先生とも協力し、フットワークを軽くしてできる限り対応したいと思いますので、困った症例がございましたらご紹介をいただければ幸いです。

## 新型コロナウイルスにより診療の変化

新型コロナウイルスの流行で耳鼻科診療にも多大な変化がありました。現在当院では、初診時、発熱のある患者さんは原則的に、まず PCR 検査をしてから診察をおこなっております。また入院中も定期的に PCR 検査をおこなっております。初診時は診察までに時間がかかることがあります、何卒ご了承いただければ幸いです。

新型コロナウイルス流行下でご苦労されている先生方が多いと思いますが、皆さま方と協力して今後も地域医療を支えていきたいと思っております。本年度もよろしくお願い申し上げます。

## 2020年 診療実績

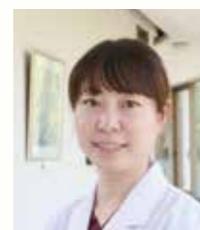
診療内容	件数
内視鏡下副鼻腔手術	54
内視鏡下鼻腔手術	66
口蓋扁桃手術	16

## 外来担当医表

★土曜日: 睡眠時無呼吸外来						
	月	火	水	木	金	土
午前 8:00~ 11:45	高岡 亮裕 奥村 智司	野間 英美 前田 英美	前田 英美 中村 匠孝	高岡 亮裕 奥村 智司	高岡 亮裕 塩田 純里子	★第2週 前田 英美 奥村 智司 ★第4週 高岡 亮裕
午後 12:00~ 15:30	手術	奥村 智司	手術	検査 (補聴器相談)	前田 英美 (補聴器相談)	

## 前田 英美

Emi Maeda



## [略歴]

平成 20 年 兵庫医科大学卒業  
平成 20 年 大阪市立大学医学部附属病院 臨床研修医  
平成 22 年 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科 レジデント採用  
平成 23 年 大阪厚生年金病院 耳鼻咽喉科 レジデント採用  
平成 24 年 大阪船員保険病院 耳鼻咽喉科  
平成 26 年 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科 大学院生・非常勤医師  
平成 27 年 兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科  
平成 29 年 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科 大学院博士課程修了学位取得  
平成 29 年 大阪みなと中央病院 耳鼻咽喉科  
令和 4 年 神戸百年記念病院 耳鼻咽喉科  
[資格・免許]  
・日本耳鼻咽喉科学会専門医  
・耳鼻咽喉科専門研修指導医  
・医学博士  
・補聴器相談医

## 眼科



## 加齢性疾患である白内障

## 眼科 萩原 正典

当科で最も多い手術は白内障手術です。今まででは1泊もしくは2泊の入院手術を行っていましたが、それに加えて患者さんのニーズに応えるため、7月より日帰り手術を段階的に開始しました。ご高齢で入院が不安であったり、家を空けることができず入院が難しいなどのため、日帰り手術を希望される患者さんにも対応ができるようになりましたので、ご利用いただければ幸いです。また従来同様、入院手術についても、引き続き対応していきます。総合病院である強みを生かし、通常の局所麻酔下の手術に加えて全身麻酔、鎮静下での手術も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

手術は毎週水曜日と第2、4の火曜日に行ってます。患者さんをお待たせすることのないようスムーズに手術を予定できるよう心がけています。

## 糖尿病網膜症をはじめとした網膜硝子体疾患

糖尿病網膜症を始め、加齢黄斑変性症、網膜静脈閉塞症等の黄斑疾患に対して、最新の光断層写真 (OCT)、蛍光眼底造影検査 (FAG)、OCTアンギオグラフィーを用いて診断を行っています。抗VEGF薬硝子体注射、網

膜光凝固など病態に応じて適切な治療を選択し積極的に行ってています。加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬硝子体注射では、患者さんの通院負担を軽減するため、症例により Treat&Extend 法、PRN 法を選択しています。再発することが多い疾患のため、根気強い治療が必要ですが、早期に治療を開始することで視力を保つことが期待できます。

## 地域全体で「患者さんにやさしい医療」を目指します

当科では常勤医1名、スタッフ5名で、一丸となって眼科疾患全般に対する診療を行っています。上記疾患の他、翼状片、霰粒腫などの前眼部手術も行っています。また緑内障では早期発見、早期治療、点眼加療の継続に努めています。患者さんに安心して受けいただける治療を目指し、各疾患について正しく理解していただけたため、医師とスタッフ一同、わかりやすい言葉での説明と診療を心がけています。

当院では病病連携や病診連携といった、地域における医療機関連携をとても大切にしています。当院眼科へご紹介いただいた患者さんは、早めに術後のフィードバックをさせていただきます。逆に当院から他の病院へご紹介した患者さんは、治療後のフォローアップなどもしっかりとさせていただきます。また検査だけのご紹介もお気軽にお問合せください。これからも一人ひとりの患者さんによりよい医療を提供できるよう、当院全体で、そして地域全体で心がけてまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。



## 2021年 診療実績

診療内容	件数
白内障手術	202
硝子体注射	54
前眼部手術(霰粒腫、脂肪ヘルニアなど)	6

## 外来担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前 8:00~ 11:45	萩原 正典 萩原 正典	萩原 正典 萩原 正典	萩原 正典 萩原 正典	担当医 萩原 正典	萩原 正典 (第2.4週)	
午後 12:00~ 15:30	萩原 正典 <予約制>	手術 (第2.4週)	手術 (第2.4週)	萩原 正典 <予約制>	萩原 正典 <予約制>	

## 眼科



## 萩原 正典

Masanori Hagihara

[略歴]  
平成 23 年 藤田保健衛生大学医学部 卒業  
平成 23 年 藤田保健衛生大学病院 初期研修医  
平成 25 年 兵庫医科大学病院 眼科  
平成 27 年 岐阜県立尼崎総合医療センター 眼科  
平成 30 年 神戸百年記念病院 眼科

## 小児科



## 病院小児科の特性を生かして

小児科部長 芳本 貴巳子

神戸百年記念病院小児科は、兵庫区内にある唯一の病院小児科です。

残念ながら、小児科は一人勤務体制のため、入院診療はしておりません。また、私自身が小児科で subspeciality を持っている訳ではありませんので、特に得意分野の疾患があるというわけでもありません。

## 他科との連携や迅速で充実した検査体制

ただ、病院小児科であるため、他科との連携や迅速で充実した検査体制を活用して診療を行うことが出来ることは強みの一つではないかと考えております。

当科では、地域のお子さんの健康に寄与すべく、プライマリーケアを中心に診療活動を行っています。

一般診療の他、予防接種、乳児健康診断も行っています。

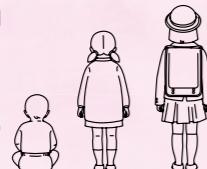
## 一般外来

- カゼ症候群や感染性胃腸炎などの感染性疾患や気管支喘息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患を中心に入院診療しています。

- インフルエンザ・溶連菌・ロタウイルス・アデノウイルス感染に対しては、迅速検査を行い診断の一助にしています。

- アレルギー疾患に対しては、血液検査を行い、その結果に基づいて日常生活での対応等を個々に相談させていただいている。

外来での対応では不十分な場合、近隣病院小児科へ紹介させていただいている。



## 外来担当医表

★土曜日  
第2・4週 一般健診 第1・3・5週 予防接種

	月	火	水	木	金	土
午前 8:00~ 11:45	芳本 貴巳子	芳本 貴巳子	芳本 貴巳子		芳本 貴巳子	芳本 貴巳子 ＜予約制＞★
午後 12:00~ 15:30	芳本 貴巳子	予防接種 ＜予約制＞	予防接種 ＜予約制＞	芳本 貴巳子	乳児健診 ＜予約制＞	

## 小児科

小児科部長  
**芳本 貴巳子**  
Kimiko Yoshimoto

[略歴]  
平成2年 神戸大学医学部卒業  
平成2年 神戸大学医学部附属病院 小児科研修医  
平成3年 加古川市民病院小児科研修医  
平成4年 西脇市立西脇病院 小児科  
平成5年 愛仁会高槻病院 小児科  
平成8年 兵庫県立こども病院 周産期医療センター新生児科  
平成10年 鐘紡記念病院 (現神戸百年記念病院) 小児科

[資格・免許]  
・日本小児科学会専門医  
[専門・得意分野]  
・小児科全般

## INFORMATION

## 症候専門外来・入院教育のご案内

当院では、近隣の先生方と患者さんの利便性を向上させる仕組みや環境づくりの一歩として、症候専門外来・教育入院という新しい取り組みをスタートさせました。専門的な疾患のみ当院でフォローしつつ、通常の診療はかかりつけ医である先生方で診ていただくことで、患者さんの安心にもつながると思っております。ぜひお気軽にご相談ください。

## 症候専門外来

予約制



## 便秘外来

毎週木曜日  
13:30~14:30

便秘は、患者さんによって症状が多様で、その定義も各種団体によってさまざまです。便秘は有病率が高く、ありふれた病気なので軽視されがちですが、その裏には重大な病気が隠れているかもしれません。ただの便秘なのか、それとも病気のサインなのかを判断するため、ぜひ便秘外来をご利用ください。

## 胸痛外来

毎週火曜日  
13:30~14:30

胸痛は、さまざまな理由で起こります。経過を診ていて良いのか、器質疾患があるのかを判断するために胸痛外来をご利用ください。必要に応じて諸検査させていただきます。強く心疾患を疑う場合や緊急性がある場合は、循環器外来や救急外来もご利用ください。

## 足病外来

お電話にて  
ご相談ください

糖尿病足病変を中心に、血行障害、痛み、爪のトラブル、水虫、足のキズ、しづれ、外反母趾、むくみ、たこ・うおのめなど、足の病気・症状でお困りの患者さんがいらっしゃいましたらお気軽にご相談ください。

## 不整脈外来

第1・3週土曜日  
9:30~10:30

診断に基づき、内服の調整からカテーテルアブレーション、ペースメーカー治療まで必要な治療方針を不整脈専門医がご提案させていただきます。地域住民の皆さまのお役に立てるよう、不整脈でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ご紹介ください。



## 糖尿病

入院期間  
10日~2週間

適切なカロリーの食事を摂っていただきながら、シェイプアップをします。体に溜まっている余分な糖分を一旦出してしまって血糖値も改善します。入院しなければ難しい早朝や夜の血糖、1日の尿糖もチェックしながら、栄養士からは食事についての指導、看護師からは運動を含めた生活指導を受けていただくことができます。

## 教育入院

直接教育入院

## 高血圧

入院期間  
2週間

入院中は、塩分制限食を摂っていただき、慣れていただきます。かなり降圧できる患者さんも多くいます。入院中は、心エコー（心臓超音波検査）などを行い専門医による心不全の説明をさせていただきます。また、栄養士による食事指導を2回受けいただけます。

慢性腎臓病  
CKD入院期間  
1週間  
精査・教育入院

①腎機能を悪化させている要因を明らかにする。②動脈硬化性疾患を早期発見する。③慢性腎臓病とその療養生活に関する知識を深める。

以上のことを目的としています。

★尿蛋白陽性 ★GFR<45

の患者さんがいらっしゃいましたらお気軽にご相談ください。

## 地域医療総合支援センター

078-681-6250(直通)  
FAX 078-686-1802(直通)

[月~金曜日] 9:00~18:00 [土曜日] 9:00~17:00 [日・祝日] お休み  
なお、ファックスは24時間受付けておりますが、受付時間外は翌日の処理となりますのでご了承ください。